

業績ハイライト (2025年9月期)

親会社株主に帰属する
中間純利益

89億円
前年同期比 +22億円
※通期予想175億円

連結自己資本比率

9.42%
前期末比 +0.09pt

単体OHR

(業務粗利益ベース)

62.08%
前年同期比 ▲1.14pt

総預金 (単体)

4兆7,922億円
前期末比 +810億円

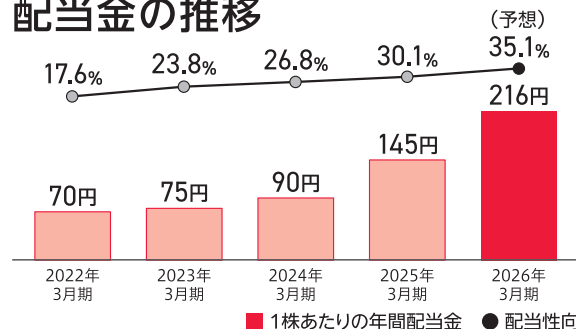
貸出金 (単体)

3兆5,980億円
前期末比 +852億円

格付 (2025年9月30日時点)

日本格付研究所(JCR) A
格付投資情報センター(R&I) A-

配当金の推移



株式情報

株式のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までとします。
定時株主総会	毎年6月に開催いたします。
配当金のお支払	期末配当は、3月31日現在の株主さまにお支払いいたします。 中間配当を行う場合は、9月30日現在の株主さまにお支払いいたします。
基準日	定時株主総会：毎年3月31日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪府中央区伏見町三丁目6番3号
事務取扱場所	各種お問い合わせ(郵便物送付先) 〒541-8502 大阪府中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 フリーダイヤル 0120-094-777
公告掲載方法	電子公告により行います。 当行ウェブサイト https://www.114bank.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない理由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。

株主優待制度

対象となる株主さま

毎年3月31日を基準日とし、100株(1単元)以上の株式を1年以上継続保有される株主さま

優待制度の内容 2026年3月末基準より内容を一部変更

地元香川県の特産品等を掲載したカタログギフトから、お好みの優待品をお選びいただけます。

保有株式数	継続保有期間(※)	カタログギフト
100株以上 500株未満	1年以上	2,500円相当
500株以上 1,000株未満	1年以上	5,000円相当
1,000株以上	1年以上3年未満	5,000円相当
	3年以上	10,000円相当

(※) 1年以上継続保有とは、株主名簿基準日(3月末および9月末)の株主名簿に同一株主番号で保有株式数100株以上の保有記録が3回以上連続して記載、または記録されていること、3年以上継続保有とは、株主名簿基準日(3月末および9月末)の株主名簿に同一株主番号で保有株式数100株以上の保有記録が7回以上連続して記載、または記録されていることといたします。

編集発行/2025年12月 百十四銀行 経営企画部 経営戦略室
〒760-8574(専用) 香川県高松市亀井町5番地の1
Tel.(087)831-0114 ホームページアドレス <https://www.114bank.co.jp/>

第157期

営業の中間ご報告

2025年4月1日～2025年9月30日

百十四銀行 ミニディスクロージャー誌

会社概要 [2025年9月30日現在]

本店所在地	香川県高松市亀井町5番地の1	発行済株式総数	28,630千株
創業	1878年11月1日	従業員数	1,978人
総資産	5兆7,529億円	店舗数	133店舗
総預金	4兆7,922億円(譲渡性預金を含む)	[本支店 100、出張所 22、 クイックスクエア 6、 コンサルティングプラザ 5]	
貸出金	3兆5,980億円		
資本金	373億円		

※ 本冊子に掲載されている計数は原則として単位未満を切り捨てのうえ表示しています。

114 BANK

ごあいさつ

頭取 森 正史

平素より百十四銀行をご利用、お引き立てをいただき、まことにありがとうございます。

2025年度中間決算は、金利のある世界における収益力の高まりを受け、連結・単体ともに2期連続の増収増益となりました。また、通期では、「親会社株主に帰属する当期純利益」は過去最高の更新を見込んでおります。

一方、米中対立の長期化や国内の構造的な人手不足等、地域金融機関を取り巻く経営環境は、不透明な状況が続くことが想定されます。`地域活性化なくして当行自身のサステナビリティは実現しえない`という考えのもと、地域やお客さまが抱える課題解決に、引続きしっかりと伴走してまいります。

さて、本年度は中期経営計画「創ろうい・い・よ」の最終年度です。これまで進めてきた「総合コンサルティング・グループの進化」の仕上げを行うと同時に、認識された課題の面にもしっかりと向き合うことで、次期中期経営計画では一層高いステージをめざしたいと考えております。

皆さまにおかれましては、なお一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

》経営理念

- 1 お客さま・地域社会との共存共栄をめざします。
- 2 活気ある企業風土の醸成をめざします。
- 3 健全性の確保と企業価値の創造をめざします。

》行動指針

- ・対話を密にし、相互の信頼を深めます
- ・プロフェッショナルとして成長するための努力を惜しみません
- ・多様性（ダイバーシティ）を理解し、人権を尊重します
- ・環境の負荷軽減に努め、地域の活性化に貢献します
- ・ステークホルダーの期待を超える行動を実践します

長期ビジョンと中期経営計画

長期ビジョン2030

総合コンサルティング・グループの進化により、地域の人々とウェルビーイングな社会を創造する

… ビジョン実現により生み出す価値 …

環境・社会価値

グループマテリアリティに係るサステナビリティKPIの達成



環境・社会価値と経済価値の両立

経済価値

長期的にめざす水準

- 連結ROE5%程度（早期達成をめざす）
- 連結自己資本比率10%程度

TOPICS

重点戦略① 総合コンサルティング・グループの進化

地域経済活性化、社会課題解決、及び先端技術活用による産業変革の実現をめざし、スタートアップ企業に投資を行う「114GENNAIイノベーションファンド」（総額20億円）を設立しました。



知られざるかがわの県産品を地元にも普及拡大させることを目的に、香川県内の関係団体と連携し、「東かがわ市の白下糖」を活用した喫茶メニューを提供するプロジェクトを実施しました。



※白下糖を活用した喫茶メニュー

重点戦略② 職員のウェルビーイング向上

終業から次の始業まで一定時間以上の休息を確保し、長時間労働の抑制や健康増進、ワークライフバランス実現とともに、職員の心身の負担軽減と疲労回復、私生活の充実による職員のウェルビーイング向上を目的とする「勤務間インターバル制度」を導入しました。

重点戦略③ 生産性の飛躍的向上

業務のDX推進と生産性向上を目的に、効率的・独創的な業務遂行を支援する「生成AIチャットサービス」を導入しました。

重点戦略④ 持続可能な経営基盤の構築

税務署・地方公共団体と協働で、e-Tax・eLTAXの推進を通じて地域のデジタル化を支援することで、地域と共に持続可能な成長基盤の構築に取り組んでいます。「電子納付システム普及率全国1位」をめざし、地域全体の業務効率化に貢献するとともに、非対面サービスの拡充など当行の経営基盤強化につなげています。

3年に1度開催される現代アートの祭典「瀬戸内国際芸術祭2025」を通じた地域価値向上への取組みとして、芸術祭をイメージしたオリジナルPR名刺の使用や、会場周辺の清掃活動、作品制作・受付ボランティアに参加しています。



※清掃活動の様子

FOCUS HBCV※が「優秀FDI企業2025※」トップ20に選出

日本企業とベトナム企業をつなぐビジネス支援が現地社会への持続的な貢献として高く評価され、ベトナム子会社HBCVがベトナム消費者保護庁及び文化経済研究所より表彰を受けました。

※HBCV:ベトナム現地法人HYAKUJUSHI BUSINESS CONSULTING VIETNAM COMPANY LIMITED

※優秀FDI企業2025:ベトナムに進出する外国直接投資(FDI)企業の中から、経済や雇用、社会貢献などへの取組みを総合的に評価し、特に優れた企業20社に贈られるもの

